



ふれあい

『第二回地域と防災の講演会』

平成一十五年ボランティア支援事業

三月十四日(金)、白鷹町健康福祉センターにおいて、「第二回地域と防災の講演会」を開催しました。十月に開催された第一回目の講演会では、災害に見舞われた際に地域の中で何ができるのか、復旧・復興のスピードを決めるものは何か、ということを研修しました。

第二回となる今回の講演会では、七月の豪雨災害で特に被害の大きかった西高玉区と貝生区の区長さんから被害当時の状況を発表していただきました。

区長さんからの事例発表については、自主防災会での対応と取り組みを、時系列で紹介していただき、災害当時の被害について皆さんに振り返ってもらいました。また、それぞれの自主防災会と災



【パネルディスカッション】

「7月水害における自主防災会の取り組みについて」
パネリスト：西高玉区長 佐藤 文雄 氏
パネリスト：貝生区長 大木 一男 氏
コーディネーター：山形ボランティア・市民活動振興センター
渡邊センター長

害ボランティアセンターの関わり方、地域でボランティアをどのように受け入れたかなど、実際の活動を紹介していただきました。この度の取り組みの中で、被災した地域と住民課題(ニーズ)を集約し、災害ボランティアセンターにいち早くつながることができるのは、自主防災会の連携以上のものはないというを感じ、今後の災害に対応できる組織づくりを強化していきたいと、地域の課題もあげていただきました。



【講演会】

「地域と防災との関わりについてPart2
～地域と災害ボランティアセンターをつなぐ」
講師：ウェザーハート災害福祉事務所
代表 千川原 公彦 氏
(防災アドバイザー)

続いて、ウェザーハート災害福祉事務所の千川原代表から、災害発生時から三日間で行われる「自助・互助・共助」について講演をいただきました。地域内の被害を最小限に食い止めるには、自分自身と地域の防災力を高める備えを日頃から意識していくこと、更に支援を必要とする方の情報を、地域住民が把握しておくことが防災力を高めるポイントであるということでした。また、自主防災組織で災害に対応できる期間は三日間であり、その後は県内外からのボランティアを活用し早期復興に向けていただきたいと思いますということでした。



この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

ボランティア情報発信



除雪ボランティアありがとうございます

二月二十日(木)、二十二日(土)と支援を必要とする世帯三件に、企業ボランティア二社が除雪ボランティアに入っていました。

町社会福祉協議会ボランティアセンターに、企業ボランティアとして、有限会社 山栄測量設計様、株式会社鈴木工務店様の二社と荒砥高等学校の生徒、高校生ボランティアサークル「あさがお」の会員述べ四十名が除雪ボランティアとして登録いただきました。

例年になく積雪の少なさに、今年は除雪の心配もなく、過ごしやすい冬を迎えました。しかし、毎日氷点下を超える寒さが続き、屋根に積もった雪や屋根から落雪した雪が凍り、除雪作業が一苦労といった所もありました。

民生委員・児童委員の地域の見守りの中で、氷の塊となって除雪が難しい世帯があるとボランティアセンターに除雪依頼が入り、氷の塊を砕く作業が考えられたため、このたびの除雪は、企業ボランティアに全面的にお願いをしました。

2/20 有限会社山栄測量設計様



30センチ以上も積雪が氷の塊となった雪は、スコップではなかなか砕くことができず、時にはブラスチックハンマーなどの工具を使うなどして作業が進められていきました。
訪問した世帯では、「いつ雪が降っても安心して暮らすことができる、助かりました。」とたいへん喜んでいただきました。



2/22 株式会社鈴木工務店様

平成二十五年ボランティア研修会

十二月十八日(水)、町健康福祉センターにおいてボランティア研修会が開催されました。町内三十カ所で開催し、それぞれの特色を生かしたサロンを運営しているボランティアが一堂に会し、情報交換や共通する課題について懇談しました。

まず前段では、二本松会上山病院の江口院長先生から心の変化について講演をいただきました。毎月のサロンで高齢者の変化にいち早く気づき、早期予防へつなぐことができる基本のチェックを確認しました。

次に、置賜消費生活センターから消費生活出前講座の紹介と、県内で後を絶たない振込詐欺の実態の報告がありました。地元の高齢



者が被害に合わないよう、声かけしていくことを心掛けることにしました。
各グループに分かれた情報交換では、地域の方が楽しみにしていて、ボランティアをしていくことに、とてもやりがいを感じているといった感想が寄せられていました。

ボランティア情報発信



お茶ボランティア（乙女さん）

平成二十年に十名で発足し活動しています。

各地区のいきいきサロンや町の芸術祭、学校や保育園などお祭りの席、桜の季節などにお茶席を設け、地域の皆さんへお抹茶でおもてなしをしています。

老人福祉センターで行っているげんき塾（自立デイサービス）では、一月二十一日から二十七日まで新春のお茶会を開きました。毎日二名ずつ訪問して、利用者の皆さんにお抹茶を点てさせていただきました。

春の桜回廊では、荒砥駅と町文化交流センター（あゆむ）でお茶席を設けます。みなさんのお立ち寄りをお待ちしています。



美味しいお抹茶をおかわり。
今日は、桜餅がついて一足早い春の香りをいただきました。

ボランティアに関わる保険の紹介

① ボランティア活動保険

特徴：ボランティアの活動のための往復途上の事故を補償

② ボランティア行事用保険

特徴：参加者のケガや主催者側の損害賠償責任を補償

補償期間：1日

③ ふれあいサロン傷害補償

特徴：サロン活動において、自宅から活動場所までの往復途上の補償、弁当が配布され食中毒で通院、外出中の事故の補償(例 お花見)



※ボランティア保険は、他人や社会に貢献する無償の活動であることが対象となります。

加入手続きは随時行われています。

但し、補償期間はいずれの通りです。平成26年4月1日午前0時から
平成27年3月31日午後12時まで

※個人、グループ等がボランティア活動中におこる様々な事故へのケガや賠償責任を保障します。

掛金等の詳細については社会福祉協議会事務局にお問合せください。☎86-0150（金田）

古切手のご協力感謝申し上げます

(H26.1.11～H26.3.15までの分)

岡村みゆき様	小口 恵子様	紺野 格次様
大滝 貞夫様	梅津 榮様	石川真知子様
橋本 佐一様	今野トシ子様	塚原 芳明様
白鷹町役場様	子育て支援センターにこぼーと	

匿名3名

古切手の種類と切り方

- どんな切手でもOK！（日本・外国・記念切手）
- 古切手のまわり1cmを残しハサミをいれる。
- 社会福祉協議会にお届けください。



ご寄付ありがとうございます

白鷹町健康づくり推進員協議会様
社会福祉事業に活用くださいと、5千円
のご寄付をいただきました。

小学校福祉教育・ボランティア活動報告

絆をつなぐ

白鷹町立荒砥小学校

◇白光園・あゆみの園に入所されている皆さんの役に立てることは…

ボランティア委員会や5年生が訪問して、発表や交流を行いました。

肩もみ等のふれあいから、肌のぬくもりを直接感じとる。歌声やダンスを披露して、笑顔と心の通い合いを実感する。「人って、いいなあ！」優しさを育む瞬間となりました。



◇世界の人に役立てることは…

プルタブやペットボトルキャップを集めて、ボランティア委員会の声かけですめました。

また、人権擁護委員の皆さんとプラントナーに花を植え、一年間継続して世話をしながら、人権意識を高めました。



◇上級生や下級生と

仲良くなるために…

下級生はあこがれを抱き、上級生は思いやりの心を育む。全校挙げての読み聞かせやきょうだい学年交流で、社会性を伸ばし、人とつながって生きることの大切さを学びました。



◇保育園の子ども達に

役立てることは…

山形県では「幼保小連携スタートプログラム」がすすめられています。保育園と学校が一緒になって、子ども達に「自主性」と「思いやり」を育みます。

本校では、一年生、五年生、ボランティア委員会が、なかよし交流会や園訪問を実施し、折り紙をしたり、一緒に遊んだりしました。

小学校との絆を紡ぐとともに、小学校へ夢と期待を膨らませるきっかけづくりを行いました。

もちろん、参加した子ども達は、みんな満面の笑顔になりました。まさに「福祉の種がまかれ、様々な教育活動ですくすくと成長し、福祉のすてきな花が満開になる」機会になりました。



町社会福祉協議会は、町民みな様からの赤い羽根共同募金を、各小学校の福祉教育活動に助成しています。子ども達が社会福祉への理解と関心を深め、社会参加を促すための実践事業です。このたびは、荒砥小学校、鷹山小学校の活動をご報告します。

小学校福祉教育報告
地域を知り、地域の人に学ぶ体験活動

全校宿泊体験学習

白鷹町立鷹山小学校

鷹山小学校では福祉教育として、「社会や地域に目を向け、そこに生きる人たちのことを知ったり、考えたりする活動」を中心にを行っています。

具体的には、地域に目を向けふれあう活動として『全校宿泊体験学習』を、またふれあい交流活動として『マイスカイ中山』の訪問などを行ってきました。今回は十月に一泊二日で行った『全校宿泊体験学習』について報告させていただきます。



○一日目は里山体験学習

里山体験学習として、地域の方を指導者をお願いし、滝野・萩野・中山・針生の四つフィールドに分かれて行いました。「秋の里山、食べられる



ものを探して味わおう」というテーマを持ち、それぞれのフィールドに出発して行きました。きのこやくりをとったり、ドングリを拾ったり、植物のことや地域の歴史などいろいろなことをお聞きしながら里山歩きを満喫しました。

○一日目夜のもらい湯活動

萩野の十軒のご家庭にご協力をいただき、十のグループに分かれて行いました。午後7時、鷹山地区公民館を出発し各ご家庭に向かいました。子どもたちは初めての家庭に伺い、初めてのもらい湯体験でしたが、お風呂とお家の方の温かいもてなしをいただき、ホッカホカになって帰ってきました。そして鷹山地区公民館で就寝。

○二日目は7・4kmの徒歩、初めての列車、自然の家での活動

一年生から六年生の縦割り班、協力し

ながら自分たちで作った朝食を食べ、準備ができた班から徒歩で荒砥駅へ出発。



励まし合いながらやり通すことができました。

切符を買い、フラワー長井線で今泉駅へ、そして米坂線に乗り換え羽前椿駅までの縦割り班で子どもたちだけの小旅行。疲れると手を引き、声を掛け合い、苦しくても



介護職員初任者研修開講

介護職員として働くために、必要な知識と技術を修得します。荒砥高校の魅力づくりの一環として、高校生も一緒に受講します。

- ▼期 間 平成26年5月7日(火)～10月28日(火)
- ▼受講定員 一般5名程度
- ▼受講料 20,000円(テキスト代別5,900円)
- ▼会 場 白鷹町健康福祉センター(主会場)
- ▼申込方法 事務局備え付けの申込用紙に必要事項を記入ください。受講料を添えて提出してください。
- ▼申込期間 3月24日(月)～3月31日(月)まで
その他詳細については、事務局にお尋ね下さい。



H25.介護技術研修
食事介助を学ぶ

■問い合わせ/申し込み：白鷹町社会福祉協議会（事務局：小出☎86-0150）

クラス共同制作
シヨッピングモール



クラス共同制作
きんぴかお城



展示物内容

平成二十六年二月八日～十日までの三日間、保育園ホールで開催されました。0歳児～5歳児の力作が展示され、訪れた地域の皆さまから大変ご好評をいただきました。作品は、クラスごとに話し合いテーマを決めたものと、子どもたち一人ひとりの作品が園内を華やかに飾りました。

- 、一歳児「ゆきだるま、写真、かわいい動物園」
- 二歳児「森のお菓子屋さん、作品集」
- 三歳児「デカルコマニール、工作(ほくの顔)」
- 四歳児「全身画、砂絵指絵」
- 五歳児「書初め、創作かるた、陶芸、絵画、アルバムの表紙づくり、クラフト制作など」

子育て支援センター「にこぼーと」たより

子育て支援センター「1万人を突破!!!」

町内の方はもちろん、町外の方にも広く利用していただき、2月で1万人を突破！することができました。



それを記念して、副町長はじめ来館していただいた皆さんと一緒に、ささやかなお祝いをしました。これからも、利用者の皆さんが笑顔で遊べる「にこぼーと」づくりを目指していきます。

「英語であそぼう♪」

2月20日(木)第14回育児講座が開催されました。歌をうたったり、手足を動かしたり、遊びながら英語にふれあい、楽しく発音していました。

